

平成26年12月5日
広島大学学長選考会議

学長候補者の決定について

広島大学学長選考会議は、次期学長候補者を下記のとおり決定しましたので、お知らせします。

記

1 氏 名 越 智 光 夫

2 任 期 平成27年4月1日～平成31年3月31日

3 選考理由

学長選考会議は、広島大学長選考規則第5条「人格が高潔で、学識が優れ、大学における教育・研究・社会貢献活動を当該学長候補者が示すビジョンに沿って適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者」に定める資格を有し、かつ、学長選考会議が定める「望ましい学長像」の要件を満たしているかについて、学長就任に対する抱負、略歴、教育・研究・社会貢献の学術資料を精査し、学長候補適任者4人に対して個別面接を行った。

その結果、越智光夫氏が、インターナショナル・マインドと発信力を持ち、国内外の有力な人脈を開拓し、事業の継承とそれを発展させる新たな挑戦を行い、総合研究大学における教育・研究・社会貢献活動を推進する人物として、本学の学長に最も適任であると認めた。

学長選考会議は、越智光夫氏の今後の活躍を大いに期待して、次期学長候補者に決定した。

4 選考経過

- (1) 平成26年6月23日、学長選考会議は、現学長の任期満了に伴う次期学長候補者の選考日程等を公示し、教育研究評議会及び経営協議会学外委員に対して、学長候補適任者3人以内を順位を付さずに推薦するよう求めた。
- (2) 平成26年11月12日、経営協議会学外委員から学長選考会議へ学長

候補適任者 1 人の推薦の届出があった。

○ 学長候補適任者

相田 美砂子（広島大学副学長（大学経営企画担当））

（3）平成 26 年 11 月 18 日，教育研究評議会から学長選考会議へ学長候補適任者 3 人の推薦の届出があった。

○ 学長候補適任者（五十音順）

岡本 哲治（広島大学理事・副学長（社会産学連携・広報・情報担当））

越智 光夫（広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授）

坂越 正樹（広島大学理事・副学長（教育担当）（平和・国際担当））

（4）平成 26 年 11 月 19 日，学長選考会議は，学長候補適任者 4 人の氏名を公示した。

（5）平成 26 年 11 月 28 日，学長選考会議は，学長候補適任者 4 人に対し，個別面接を行い，学長就任に対する抱負等を聴取した。

（6）平成 26 年 12 月 5 日，学長選考会議は，審議の結果，越智光夫氏を次期学長候補者に決定した。

（参考）

◎ 広島大学学長選考会議委員（五十音順）

有 本 建 男（政策研究大学院大学教授・独立行政法人科学技術振興機構研究開発戦略センター副センター長）

江 坂 宗 春（広島大学副学長（学生支援担当））

【議長】大 南 正 瑛（学校法人立命館名誉役員）

小笠原 道 雄（広島文化学園理事・広島文化学園大学教授）

北 島 政 樹（国際医療福祉大学長）

木 原 康 樹（広島大学医学部長）

谷 口 雅 樹（広島大学大学院理学研究科長）

寺 本 康 俊（広島大学法学部長）

望ましい学長像

平成26年11月14日

広島大学学長選考会議

学長候補者の選考は、人格が高潔で、学識が優れ、大学における教育・研究・社会貢献活動を当該学長候補者が示すビジョンに沿って適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者のうちから行うものとする。(広島大学長選考規則第5条)

- ・ 広島大学全体の教学理念と使命（ミッション）を再確認し、アジア太平洋地域に位置する日本の大学として、国際相互理解を通して多文化共生の大学をめざして行動する。
- ・ 広島大学の総合研究大学としての使命に基づき、理念5原則の精神をもって、人類の未来を切り開く普遍的な価値の創造と人类的諸課題の解明に務め、それに取り組む人間を育成する。
- ・ 大学運営にあって、全大学キャンパスにおける教育・研究・社会貢献および文化・スポーツ活動を通じて、信頼と連帯を育み、地域に根差し、国際社会に開かれた学園を構築する。
- ・ 理念5原則の実現のため、具体的な目標を掲げる。その上で、当該目標を達成するための基本的な方針を明確にする。
- ・ インターナショナル・マインドと発信力を持ち、有力な人脈を有するとともに、これを拡大する。
- ・ ミッションの再定義を踏まえた大学の将来像を明示する。
- ・ 各キャンパス間のコンセンサスを図り、学長として教員、職員、学生など構成員と協働し、全学を横断的に理解し、統合する。
- ・ 世界水準の総合研究大学を目指すために、これまでの施策を継承し、更に発展させるためのビジョンを示し、それを実現するための強い意志を持って行動する。